



JCニュース

News

本誌
 ~愛する長崎を創る
 大きな原動力のために~
 Junior Chamber
 International
 NAGASAKI
 2018

2018
 Vol.732 **2**

創 立 / 昭和27年12月1日
 承 認 / 昭和28年2月7日
 認証番号 / 36番
 理 事 長 / 光富 英治
 会 員 数 / 135名
 編 集 / 一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会

JCI  Junior Chamber International NAGASAKI
 一般社団法人 長崎青年会議所

事 務 局 / 〒 850-0874 長崎市魚の町 3 番 21 号
 (マリンハイツ長崎 202 号)
 TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399
 E-mail office@nagasaki-jc.jp
 http://nagasaki-jc.jp/



Webサイトにアクセスできます

TOP NEWS

理事長挨拶

公益社団法人日本青年会議所
 2018年度 京都会議

- JC新年懇親会・OB会総会・1月例会 報告
- 京都会議報告 建設クラブ・長崎青松会
- 出向委員長による委員会紹介
- 事業告知「出前講座」
- 65年をプレイバック「長崎ランタンフェスティバルと長崎JC」
- 事業告知「手作りランタン体験コーナー」/会員拡大だより



理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所

第66代理事長

光 富 英 治



2018年も約1ヶ月過ぎましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は、インフルエンザが過去最大に蔓延しております。体調管理は十分に行っていたいただき、仕事やJIC活動に全力で邁進していただければと思います。

さて、怒涛の1月が過ぎました。私自身非常に貴重な経験を多くさせていただきました。まずは、1月18日(木)～21日(日)におきまして、京都会議が開催されました。本年度は、初めて開会式より出席させていただきました。又、本会の第1回理事社会にも出席させていただきました。2012年に日本JICの総務委員会に出向させていただきましたときには、水曜日に会場入りし、日曜日まで各種会議の設営などで大変忙しく、その内容については詳しく知りませんでした。しかし、今回オプザーバーとして出席させていただきました。本会の理事会設営・運営を経験させていただいて非常に良い経験になりました。今までの京都会議は、P D C AサイクルのP (PLAN・計画) というところで、年初に於いての「政策の発信」という立ち位置でありました。しかし、京都会議の場において政策の発信を行うと、そのあとD C Aのサイクルが遅れるということと、本年度よりP (PLAN;計画)

は予定者段階で開催される日本JICの事業説明会で行われ、D (DO・実行) の起点となるよう変更となりました。つまりは、日本JICの運動が京都会議から推進されるということです。特に本年度のフォーラムは、政治、経済、安全保障、教育再生、人財教育、地域創生、ブランディングなど、非常に多岐に渡っており、青年経済人としての見聞を深められる非常に貴重な機会となりました。特にその中でも、メインフォーラムにおいて、「日本の創生には、新たな事業の創造を生み出すことで、地域・国家・国際社会に貢献をする必要があります。そのためには個の力を結集し、調和を生み出す仕組みを創ることのできる経営者の育成が重要」でありました。長崎JICは日本JICの下部組織ではありません。しかし、日本本会と両輪を保ちながら運動を展開し、日本創生に繋がる地域創生を展開していくことは非常に有益です。改めて日本創生、そして地域創生にいかにつなげられるかを考える貴重な経験となりました。今年も長崎JICから多くのご参加をいただき、このフォーラム、セミナーを通して得た情報をしっかりとLOMへ繋げていただければと思います。又、新形式典において、公益社団法人日本青年会議所 2018年度の会頭、池田祥護より日本JICの2018年度の方針が発表され、本年度は「万物に感謝の心を以て、公に誠を尽くす」「和」の精神性が導く、愛と希望溢れる国「日本の創造」をスローガンに掲げられました。池田会頭のスピーチの中で、「自らを変えられないものに社会を変えられるはずはない。青年会議所という学び舎で得たことを、関わっている全ての人々に行動で示そう。今は大変でも、その先には「明るい豊かな社会」がある。その明るい未来につながる扉を開くのではないかな。変革者たらん我々青年が、能動的に活動できる機会を通じて、多くの知識を学び活用する。そして、成功、失敗の経験を繰り返し、見識として己の徳を積む。時には、どんな困難が立ちほだかろうとも、断固たる決意をもち、志を立て、未来を切り開いていかなければならない。現状に満足せず、何事にも挑戦し続けるという強い意志がそこになれば、人の営みは停滞し、社会は瞬く間に活力

を失う。変化を恐れ挑戦しないリスクは、失敗するリスクよりもはるかに大きいものである。しかし、そこに気付く者は極めて希だと考える。我々を取り巻く環境は一人一様であり、自らを取り巻く環境における問題で苦勞している人もいるとは思。しかし、不平不満をいう、できない理由を並べる、最初から無理だと思ってしまうのではなく、修煉という成長の機会を与えてもらっている。と前向きに捉え、どうやったらできるかを考え抜き、何事も全力で挑戦しよう。青年会議所という世界中にネットワークがある奥深い組織から学びを得てみよう。必然的な出会いがあり、嬉しくも悔しくも前向きな涙を流すことができ、感動を味わうことができる。そして、まだ見ぬ世界を一步踏み出すことで素晴らしい機会がある。青年会議所はそんな唯一無二の団体なのである。「明るい豊かな社会」の実現は、人財の成長なくしてありえない故に、我々が変革者たらん「和」の精神性を兼ね備えた人財として成長を遂げ、調和を生み出し、奇跡を起こそう。」とありました。それはまさに、私がスローガンとして掲げた「本気」を意味する部分と重なるところが非常に多くあり、我々がJIC活動・運動を行っていく上で可能性希望、そしてそこから生まれる未来を託すところであります。皆様もこの意味を十分に理解していただき、今年1年、更にはこれから未来の指針にしたいだけだと思います。

次に1月11日(木)に開催されたJIC新年懇親会では、近年稀に見る大雪で大変お足元の悪い中、多くのご来賓の皆様、又、県内外より各地青年会議所理事長、メンバーの方々、そして多くの特別会員の皆様にご出席賜りまして、誠に有難うございました。おかげさまで盛況のうちには終了することができました。私自身としても、本年度最初の対外事業、そして私の所信を述べさせていただきます。拙いながらもスローガンに掲げる「本気」の意気込み、そしてその意味をお伝えさせていただきますことができました。私の掲げる「本気」とは一生懸命頑張ることは大前提として、メンバー一人ひとりが自分自身に何ができるのかしっかりと考え、更には地域、市民の方々に対す

る気持ちを感じ、我々が最大限できることを行う、ということの意味しております。又、我々が行う事業を通して、ゴールをしっかりと見据え、未来に対して何が残せるかを考えなければいけません。新年懇親会の場で皆様にお伝えし、まずはメンバーの皆様一人ひとりがこれらを自覚し、メンバー自身が意識改革していくこと、そして我々の活動に日頃よりご協力いただいているご来賓の皆様、特別会員の皆様にお伝えできた非常に貴重な機会でした。本当に有難うございました。又、この会をつつがなく設営・運営していただいた例委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。

又、忘れていけないのが、会員数に伴い、各委員会の事業費が削減されている状況にあります。近年は、全国各地で会員数の減少が問題となっており、それに伴いLOM数の減少であったり、事業を構築できず活動がままならなかったりといった現状が生まれております。そしてこの問題は、長崎JICにおいても他人事ではありません。本年度は山崎委員長を筆頭とし、「本気」の拡大活動が行われております。しかし、この拡大活動を行うのは山崎委員長率いる会員拡大委員会、そして各委員会の拡大幹事だけで行うものではなく、日本中の各LOMにおいて非常に重要視され、今までの以上に拡大活動の重要性が唱えられています。そして多くのツールやノウハウが構築されています。これらのツールやノウハウを活用しない手はありません。是非とも、これらのツールを有効活用していただき、一人でも多くのメンバーの入会に繋がっていただければと思います。メンバー一人ひとりがこの問題に対してもっと本気になって向き合い、メンバー一丸となって拡大活動を行っていただき、一人でも多くの同じ志を持つメンバーを増やしていただきたいと思います。

全ては、愛する長崎を創造する大きな原動力のために。

2018年度 JC新年懇親会



例会委員会
副委員長 青野 悠 君

去る1月11日(木)、ホテルニュー長崎 鳳凰閣東中において「2018年度JC新年懇親会」が開催されました。当日は多くの来賓・来訪JC、特別会員の皆様にご出席いただき、第66年度の華々しい船出となりました。



まず第65年度理事長の吉田宗由君の御礼の挨拶に始まり、続いて、第66年度理事長の光富英治君の挨拶では、本年度の活動方針をスローガンに込めた想いと共に話していただき、長崎JCの向かうべき方向性を発信することができました。又、長崎県知事小村法道(代理出席 里見晋)様、長崎市長田上富久様、長崎青年会議所OB会石丸忠重会長、公益社団法人日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会柴田英輔会長、吉田直前理事長そして光富理事長による鏡開きが行われ、新年を盛大にお祝いしました。



正会員の皆様には、会のスムーズな運営にご協力いただきましたことを御礼申し上げます。今後もスムーズな例会運営ができるよう、例会委員会一同努めて参りますので、1年間どうぞ宜しくお願い致します。

2018年度 OB会総会



総務委員会
委員長 仲田 留奈 君

去る1月11日(木)ホテルニュー長崎 鳳凰閣西にてOB会総会が開催されました。当日は大雪の降る中、特別会員の皆様にお集まりいただきました。総会では、2017年度決算報告の件、OB会新入会幹事選任の件に関して無事に承認されました。

石丸OB会会長より創立65周年記念式典に関してのお話や「長崎JCが、長崎のまちを更に元気に明るく魅力のあるまちにすることができる活動をしていただければと思います。又、今年OB会に入会される新しいOBの皆様と共に、長崎JCの活動にご協力いただければと



思います。」とのお言葉をいただきました。

今年度も、長崎JCの活動に特別会員の皆様のお力をお借りすることになると思います。これまで先輩方が培われた功績に感謝し、長崎JCの更なる発展につながるよう正会員一同本気で取り組んでいきましょう。



1月例会を終えて



例会委員会
運営幹事 澤勢 瑞城 君

去る1月11日(木)ホテルニュー長崎において1月例会、新年懇親会が執り行われました。例会委員会として初めて迎える大切な事業でしたが、葉書や電話による出欠の確認、名札、看板、旗などの備品の確認、リハーサル、シナリオの修正などまずは開催までに多くの時間と労力がかかって行われていることを知りました。

私は1月例会の司会を担当しました。シナリオで確認していてもいざ本番となるとまた緊張感が違うもの。シナリオ作成及びタイムキーパーを担当していただいた峯拡大幹事のおかげもあり何とか時間通りに例会を終える

ことができました。

さあよいよ新年懇親会。前日から長崎市は雪にも見舞われ足元の悪い中、来賓・来訪JC・特別会員・正会員計210名もの方にご参加いただき誠に有難うございました。深く感謝申し上げます。

始まる前はリハーサル中も当日もどうなるものかと不安もありましたが、実際始まってみるとフロアを駆け回ってあっという間で、終わってからの疲労・達成感も心地のよいものでした。この経験を今後活かしていきたいと思います。



公益社団法人日本青年会議所

2018年度 京都会議

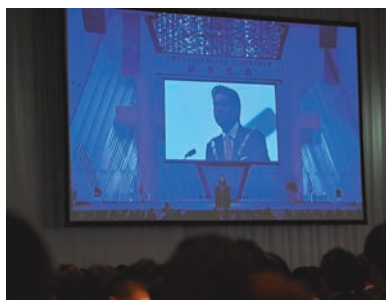


渉外委員会

委員長 溝江 琢也 君

去る1月18日(木)～1月21日(日)にかけ、公益社団法人日本青年会議所2018年度 京都会議が国立京都国際会館にて開催されました。20日には、長崎JCメンバー総勢35名にご参加いただき、普段なかなか参加できないようなセミナーへの参加や、古都京都の街を散策したりと、思い思いの時間を過ごしていただきました。又、LOMナイトは、旅館八千代にて開催され、36名のご参加をいただき、委員会や役職の垣根を越えて懇親を深めていただきました。更に、九州地区協議会の土岐会長、長崎ブロック協議会の柴田会長、友好JCの神戸青年会議所の川谷

副理事長、高田副理事長が会場まで駆けつけていただき、LOMナイトは大いに盛り上がりました。翌日の会頭所信では、大勢の全国から集まったJCメンバーが本気の姿勢で会頭の所信を聞いている姿は圧巻の光景でした。今回、遠く京都の地まで来ていただいた長崎JCのメンバー、運営全体にご協力いただいた渉外委員会のメンバー、LOMナイトにお越しいただいた土岐会長、柴田会長、神戸JCの皆様、お世話になった旅館八千代の皆様、この事業に関わった全ての方々に改めて感謝を申し上げます。本当に有難うございました。そして、今回初めて京都会議に参加したメンバーが次回も参加したいと思ってくれたのなら幸いです。





日本青年会議所 建設部会 第1回常任委員会議及び定時総会

2018年度長崎ブロック建設クラブ

クラブ代表 尾崎 光輝 君



去る1月19日(金)、京都ホテルオークラにおいて「日本青年会議所 建設部会 第1回常任委員会議及び定時総会」が開催されました。

会議の冒頭に第52代部長野村康幸君より所信が述べられ、本年度の基本理念に掲げられた「情熱」について、熱い気持ちに参加したメンバーに伝えられました。審議事項5件、協議事項2件となかなかボリュームのある会議でしたが、スムーズな進行のおかげで無事に予定時間内に終了することができました。定時総会では直前理事長楠本

隆文君より昨年1年間の報告があり、支えてくれた常任委員への想いが伝えられました。会議終了後の新年会は300名を超す現役、シニアクラブのメンバーが集まり、各クラブ10数名で参加されている中、1人で参加してしまった私は肩身の狭い思いをするばかりでした。次年度は沢山のメンバーで参加してもらえればよいと思います。

今後1年間建設部会は建設業だからこそできる運動・活動を、失敗することを恐れず情熱をもって勇猛果敢に挑戦して参りますので応援の程、宜しくお願い致します。

京都会議 今日庵訪問

長崎青松会

仲田 留奈 君



長崎青松会の仲田です。去る1月20日(土)裏千家今日庵へ表敬訪問致しました。当日は、西野副理事長、小野原室長、大平大樹君、私の4名で緊張しながらの訪問となりました。平成茶室という新しい茶室の中で、黒楽茶碗でいただくお茶はとてもおいしかったです。その後、今日庵の中を拝見させていただき、大玄閣から入り無色軒というお茶室の中に入り説明を受けました。初めての今日庵は日常を忘れる風景でした。これからもお稽古に励みたいと思います。

出向委員長による委員会紹介

公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会 JC ブランド確立委員会



委員長
山口 知宏 君

地域の信頼と共感を集め、地域のために、魅力ある運動を展開している青年団体。そんなブランドイメージを市民や会員の皆様に定着できるよう、AWARDS KYUSHU2018をはじめ、WEBサイト、SNS、プレスリリースに至るまで様々な手法を用いてJC運動を発信し、JCのブランディングを推進して参ります。

市民の皆様からは「ああ、JCなら信用できるね」、「JCがやってる事業なら参加してみようかな」。会員の皆様からは「JCはこんな良い事業もやってたんだ」、「JCってやっぱすごいじゃん!」 そのように感じていただければ私たちの目的は達成します。出向していただいた皆様には、ブランド確立運動を通じて、情報発信の手法や考え方を学んでいただき、LOMでの活動や自身の社業に活かしていただければ幸いです。JCは「使い倒してなんぼ」と考えます。知識・経験・人脈を得て社業に、そして地域のために還元できるような是非積極的な出向をご検討下さい。

公益社団法人日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会 憲法改正推進委員会



委員長
池田 光史 君

憲法改正推進委員会の池田です。憲法改正推進委員会は長崎JCから6名出向していただいております。私たちの委員会では憲法に関する問題点に取り組んでおります。例えば、憲法改正の国民投票があってもどうすればいいんだろう？ 憲法って難しいよね！ そんな問題点にメンバーと一緒に取り組んでいます。解決策として例えば安全保障については学ぶ機会が少なく、改憲派や護憲派に偏った情報が流れている現実がある中で、改憲派と護憲派の両方をお招きしてそれぞれの立場からの意見をお聞きして知識を身に付けた上で意思の確立してもらおう、又、難しく感じるなら楽しみながら学ぶ機会を作って、基礎知識を楽しく学び主権者意識を醸成してもらおう、そういう考えのもと一つずつ課題に取り組んでいます。皆様のお役に立てる事業になるように日々努力しておりますので、是非事業に参加していただきブロック協議会にもご理解いただけると幸いです。

公益社団法人日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会 次世代教育確立委員会



委員長
鮎川 愛 君

長崎ブロック協議会次世代教育確立委員会委員長を仰せつかりました鮎川です。次世代教育確立委員会では、これからの長崎の地域社会・経済を担う次世代の若者に対して、主権者として政治に主体的に参画する意識の向上などを図ることを目的に、現在ブロック大会での事業構築に向けて、委員会メンバーと共に準備をしています。

私は、入会歴が浅く出向も初めてのため、役員会議や会員会議所会議では毎回緊張して手に汗をかいていますが、貴重な経験を与えていただいたので1年間しっかり役目を果たしていきたいと考えております。

この委員会は、名前のとおり、次世代の若者について考える委員会ですが、私たちも又、これからの社会を担う青年経済人として地域社会のことを考え行動していかなければなりません。ブロック大会では、ご来場いただく若者や県民の皆様や、各LOMのメンバーの皆様に、来てよかったと思っていただけるような事業を行えるよう準備して参りますので、皆様是非宜しくお願い致します。



青少年育成委員会

運営幹事 池田 裕介 君

長崎県では、2006年10月の長崎県観光振興条例制定により、観光立県長崎の実現を目指しております。翌2007年1月にはおもてなし日本一の長崎県づくりをテーマに、長崎県民総おもてなし宣言を行い、2009年4月より長崎県総おもてなし運動の取組みが開始されました。この取組みの中では児童教育も対象となっており、出前講座の実施により、子どもたちに郷土についての学びの機会を提供することで、郷

土愛を育むと共に、観光のお手伝いができるきっかけをつくることを目指しております。そこで、長崎サミット参画団体の中でも青少年育成に関わる事業を実施している長崎JCが出前講座を担当することになりました。まずは、2月16日に長崎市立大浦小学校にて実施致します。子どもたちが長崎についてより一層興味が湧くような内容をメンバー全員で考えております。

なお、本事業は場所が小学校ということもあり、近久副理事長、湯口未来室長、青少年育成委員会にて実施して参ります。皆様へは例会、JCニュースなどで事業報告させていただきます。



【第2回】

長崎ランタンフェスティバルと長崎JC

1987年に始まったとされる「長崎ランタンフェスティバル」は、今年で31年目となります。当初は「春節祭」と呼ばれ、中国の旧正月を祝う行事にちなんだお祭りで、新地中華街が中心になって行ったものといわれています。これに長崎JCとして初めて「手作りランタンコンテスト」の企画運営を行ったのが1995年。当時の大丸前には市民の方々が趣向を凝らして作ったランタンが飾られ、優秀作には賞品が贈られていました。当時のパレードに先輩たちが参加し、手作りランタンを制作している風景が資料として残っています。

そして2000年にコンテストと並行して「手作りランタン体験コーナー」が実施されました。初めての試みにもかかわらず、多くの市民及び観光客の方々の関心は高く、総数400人に楽しんでいただけたそうです。

そこから現在の形式に変遷し、近年は先輩方の経験やアイデアの集大成ともいえるランタンキットや待ち時間をできるだけ短くするための下絵の準備、チャイナドレスの試着撮影、光るランタンなどがあります。

このような素晴らしい伝統もありながら年々進化していくこの事業を楽しみにしていない長崎人はいません。又、今年も参加してくれた子どもたちが真剣にランタンに好きな絵を描き、楽しく色を塗る光景を見て癒されるのを楽しみにしております。

(広報委員会 川原倫彦)



パレード初日に参加したメンバー



手作りランタン製作風景（事務局にて）



多くの人でごったがえす 大丸前

手作りランタン体験コーナー



地域推進委員会

副委員長 春明 航太 君

来る2月18日(日)、2月25日(日)、ベルナード観光通りにて、2018年手作りランタン体験コーナーを実施します。ランタンフェスティバルへの参画は1995年より引き継がれてきた歴史ある事業であり、今年で24回目の開催となります。2016年は1,743名、2017年は1,843名の来場客で賑わいましたが、今年は更に多数の来場者が見込まれます。混雑することが予想されますので、スムーズかつ安全に事業を運営するためにも長崎JCメンバー皆様のご協力をお願い致します。



そして今年は長崎JCメンバーだけでなく、大学生を中心としたボランティアスタッフも参加する予定です。長崎JCメンバーの皆様には来場者のみならずボランティアスタッフとも交流を深めていただき、「まちづくり」のみならず「人づくり」の意識を向上させる機会にさせていただきたいと考えています。

手作りランタン体験コーナーは来場者の皆様に長崎の歴史や文化に触れていただける機会となります。例年通り非常に厳しい寒さの中での事業となることが予想されますが、万全の防寒対策をした上で、長崎の魅力を発信する熱い事業にしましょう！

2018年手作りランタン体験コーナー

長崎ランタンフェスティバル期間中

第1回 2月18日(日) 9:00-15:00

第2回 2月25日(日) 9:00-14:00

会場 ベルナード観光通りアーケード内 (十八銀行観光通支店前)

参加無料

お問い合わせ JCI 一般社団法人 長崎青年会議所

TEL.(095)825-2709 (担当 深堀)

URL http://www.nagasaki-jc.jp/



会員拡大だより

会員拡大委員会 委員長 山崎 祐紀 君

自治会	親戚	PTA
取引先	自分	同業者
友人	SNS	趣味

会員拡大マンダラシート。それぞれのカテゴリーから対象者をリストアップしよう

皆さん、こんにちは。会員拡大委員会です。30名を必ず超えることを目標としている今年度、4月18日～20日(20日は予備日)の面接に向け全会員で会員拡大活動を行わなければ目標を達成できません。一言で会員拡大活動といって皆さんが想像するのは、「リストを挙げる、アポイントを取って、実際にアプローチする」だと思います。シンプルですが簡単ではありません。しかし、これを全て1人で行わなければいけない訳ではありません。リストを挙げるだけでも会員拡大活動なのです。会社のデスクに入っている名刺を10分だけ見直すなど、まずは1人のリストアップ。その積み重ねが必ず入会に繋がります。是非、全会員で会員拡大活動を行い、沢山の仲間を迎え入れましょう！